

データサイエンスで未来を拓く

文化 情報 学部



文理の枠を越えて、文化を解明する

研究対象は“文化” 研究手法は“データサイエンス”

文化と呼ばれる領域の研究でも、自然科学的な分析が求められるようになってきました。文化情報学部では、あらゆる文化を対象に、データに基づいて分析・解明をする“データサイエンス”の手法を用います。それだけでは意味を持たなかった数字・記号などの膨大なデータから、新発見や新解釈を導き出していくことに学びの醍醐味があります。



三角縁神獣鏡 (大学歴史資料館)



紀貫之文集



三十六歌仙図帖

文化現象についての深い知識

データサイエンスの実践力

4年

卒業研究Ⅱ

卒業研究Ⅰ

3年

ジョイント・リサーチⅡ

アドバンスト・コロキウム

ジョイント・リサーチⅠ

2年

ジョイント・リサーチ演習3

ジョイント・リサーチ演習2

1年

ジョイント・リサーチ演習1

コロキウム

文化情報学入門

文と理が交差する基幹科目

文系・理系の枠を超えたカリキュラム



舞踊の3次元動作計測

文化情報学部の学びは、文系、理系の枠を超えた学問領域です。伝統文化、歴史遺産、言語表現、人間行動、流行など、関心のある文化領域を深く探究していくうちに、データサイエンスの実践力が身につくように構成されています。従来の文系・理系の研究方法にこだわらず、もっとも適切な探究手法を縦横に選ぶことのできる力を養います。



バンクファッションで決めるスロベニアの若者たち (写真: 堀本洋一)

データサイエンス科目

- テキストマイニング - 空間データ解析 - 意思決定の数理	- 文化情報学実験・演習 (A) - 文化情報学実験・演習 (B)	数理モデル
- データマイニング - 心理データ解析 - 時系列解析	- ヒューマンコンピュータインタラクション - データベースシステム - 数値計算	- 現象と数理Ⅱ - 数理統計Ⅱ
- 定性的データ分析 - 定性的データ分析演習	- 翻訳解析 - 情報アクセス技術 - 社会とコンピュータ	- 現象と数理Ⅰ - 数理統計Ⅰ
- 定量的データ分析 - 定量的データ分析演習	- 人間と情報 - 情報基礎論 - e-ラーニング	- 数学基礎Ⅱ - 確率・統計
- データサイエンス基礎 - データサイエンス演習	- コンピュータの仕組み - 知的所有権 - プログラミングⅡ	- 数学基礎Ⅰ - 離散数学
- データサイエンス入門 - データサイエンス入門演習	- インターネット技術 - 情報倫理 - プログラミングⅠ	- 数学入門 - 論理と数理

データ分析科目

情報・コンピュータ科目

基礎数理科目

文化クラスター科目

行動計量学	身体認知論	言語と脳科学	文化解析
- 組織と文化 - 人類生態と社会現象	認知システム論	- 自然言語の生成モデル - ことばと認知 - 言語行動論	- 歴史文化情報論 - 古典文化論 - 文化記号論
- メディア文化論 - 社会調査演習	- 認知科学の方法 - 認知科学実習 - 表現文化論	- 言語研究の方法2 - 言語コミュニケーション論	- 文献解析 - 伝統音楽論 - 美術史学 - 比較文化論
社会調査法	- 感覚・知覚論 - 身体メディア論	- 言語類型論 - 言語研究の方法1 - 言語とコーパス	- 歴史文化情報概説 - 文献講読 - 人間と文化
社会調査入門	- 認知科学入門 - 人間と感性	- 世界の諸言語 - ことばと社会	- 歴史文化情報入門 - 文献学入門 - ジャパノロジー概論
人間と社会	- 文化と認知 - 身体論	- ことばの科学 - ことばと文化	- 日本文化史 - 文化計量学入門 - 現代文化概論
人間社会科目	人間行動科目	言語科目	文化科目

幅広い文化領域の知識を学ぶための
多彩な選択科目

データサイエンス分野の最新の知識を
体系的に学ぶ選択科目

人間と文化を対象とした

● ジョイント・リサーチ

「リサーチ＝研究」

データサイエンス科目でつちかったデータ分析の能力を、あらかじめ分かっている、本当の意味での探究活動。ター科目で幅広い文化領域について学んでいるため、自分がかを十分に意識してテーマが選べ、探究に没頭する。に身につきます。

「ジョイント＝共同」

異なる知識や関心をもつ仲間と共同で研究する場でもあります。仲間の意見をどのように求め、受け入れ、助言をあげる、信頼関係を築くかを考え、実践する。探究の実践の中でしか身につかない、知的コミュニケーションの技術が育ちます。



● コロキウム

「型にはまらない導入教育」

10名程度の小人数クラスを組み、自由な雰囲気の中で、動を展開。大学サバイバル演習、図書館訪問、文化財・ショップ、などなど。

「4年次生との交流」

4年次生を招いての「卒業研究発表会」も実施。4年次生の研究成果に直接触れることで、文化情報学部で何が学べ、どういうところまで行き着けるのかを、1年次のうちに具体的にイメージできます。



三角縁神獣鏡の3次元アーカイブ (大学歴史資料館)



つかみ運動の計測

明する

文系・理系の枠を超えた カリキュラム



舞踊の3次元動作計測

文化情報学部で学ぶのは、文系、理系の枠を超えた学問領域です。伝統文化、歴史遺産、言語表現、人間行動、流行など、関心のある文化領域を深く探究していくうちに、データサイエンスの実践力が身につくように構成されています。従来の文系・理系の研究方法にこだわらず、もっとも適切な探究手法を縦横に選ぶことのできる力を養います。



バンクファッションで決める
スロベニアの若者たち(写真:堀本洋一)

データサイエンス科目

● テキストマイニング ● 空間データ解析 ● 意思決定の数理	● 文化情報学実験・演習(A) ● 文化情報学実験・演習(B)	● 数理モデル
● データマイニング ● 心理データ解析 ● 時系列解析	● ヒューマンコンピュータ インタラクション ● データベースシステム ● 数値計算	● 現象と数理Ⅱ ● 数理統計Ⅱ
● 定性的データ分析 ● 定性的データ分析演習	● 翻訳解析 ● 情報アクセス技術 ● 社会とコンピュータ	● 現象と数理Ⅰ ● 数理統計Ⅰ
● 定量的データ分析 ● 定量的データ分析演習	● 人間と情報 情報基礎論 ● e-ラーニング	● 数学基礎Ⅱ ● 確率・統計
● データサイエンス基礎 ● データサイエンス演習	● コンピュータの仕組み ● 知的所有権 ● プログラミングⅡ	● 数学基礎Ⅰ ● 離散数学
● データサイエンス入門 ● データサイエンス入門演習	● インターネット技術 ● 情報倫理 ● プログラミングⅠ	● 数学入門 ● 論理と数理

データ分析科目

情報・コンピュータ科目

基礎数理科目

データサイエンス分野の最新の知識を
体系的に学ぶ選択科目

ジョイント・リサーチ

Curriculum POINT 01

「リサーチ=研究」

データサイエンス科目でつちかったデータ分析の能力を、現実の文化現象に応用する場。結果があらかじめ分かっていない、本当の意味での探究活動に取り組みます。1・2年次の文化クラスター科目で幅広い文化領域について学んでいるため、自分が本当に関心がある文化現象がなにかを十分に意識してテーマが選べ、探究に没頭するうちに、データサイエンスの応用力が自然に身につきます。

「ジョイント=共同」

異なる知識や関心をもつ仲間と共同で研究する場でもあります。仲間の意見をどのように求め、受け入れ、助言をあげ、信頼関係を築くかを考え、実践する。探究の実践の中でしか身につかない、知的コミュニケーションの技術が育ちます。



コロキウム

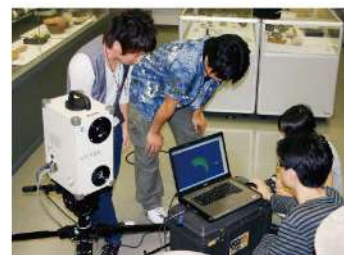
Curriculum POINT 02

「型にはまらない導入教育」

10名程度の小人数クラスを組み、自由な雰囲気の中、新入生の「栄養」となるような様々な活動を展開。大学サバイバル演習、図書館訪問、文化財・芸術作品鑑賞、文化人を招いてのワークショップ、などなど。

「4年次生との交流」

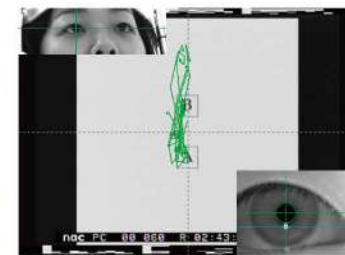
4年次生を招いての「卒業研究発表会」も実施。4年次生の研究成果に直接触れることで、文化情報学部で何が学べ、どういうところまで行き着けるのかを、1年次のうちに具体的にイメージできます。



三角緑神獣鏡の3次元アーカイブ
(大学歴史資料館)



つかみ運動の計測実験



視線計測実験

福田 智子

コンピュータで和歌を読み解く

波多野 賢治

大量複雑データの効率的効果的
格納、検索、活用

星 英仁

ことばから心と脳の仕組み
を探る

伊藤 紀子

言語コミュニケーションの
メカニズムを探る

金 明哲

人文・社会科学におけるデータ
サイエンスのアプローチによる研究

狩野 博幸

ダ・ヴィンチコードだけじゃない
日本の絵も謎だらけです

片山 徹

データから対象の動的モデルを
構築

川崎 廣吉

文化現象を計算機シミュレ
ーション

北尾 謙治

コーパスから言語・コミュニケ
ーションを垣間見る

阪田 真己子

身体から人間を読み解く

沈 力

ことばはわれわれの世界を
どう捉えるのか

重定 南奈子

数理モデルで文化の伝播を
読み解く

鄭 躍軍

計量分析で人間社会を
理解する

多彩な教員
からのメッセージ

下嶋 篤

視覚表現が人間の理解や思考
に及ぼす影響

菅野 道夫

感性の載れ

杉本 裕二

各文化に適した、人間
- コンピュータ・インタフェイスを創り出す

杉尾 武志

データから人の心を探る

鋤柄 俊夫

歩く見る触れる、データで発見、
京都の歴史

津村 宏臣

ヒトの“振る舞い”に人類文化
の本質を視る

浦部 治一郎

微分方程式で現象を解析する

高橋 美都

聴覚に関わる文化を見つめて
モノを言わせる

村上 征勝

文を計る、美を計る、古代を
計る、心を計る

山内 信幸

ことばの諸現象に「こだわり」を
示す

矢野 環

データサイエンスで伝統文化も
系統解析

宿久 洋

大量複雑データからの
知識発見

田口 哲也

ポップカルチャーを使って
文化を比較する

「何となく感じていたこと」

「無意識に行動していたこと」

「これまで勘に頼っていたこと」

これまでにない新しい価値を見つける
人間と文化を対象とした 問題発見・問題解決の専門家を育てる

取得可能な免許・資格

教育職員免許 博物館学芸員 図書館司書 学校図書館司書教諭 社会調査士

Pick up

社会調査士

社会調査協会が認定する資格。社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等をとらえることのできる能力を有する調査の専門家のことです。

卒業後の進路

文化に対する深い知識を活かす

- 新聞社・テレビなどのマスコミ関連
- 博物館、埋蔵文化財センターなどの学芸機関
- メーカーなどの調査部門・マーケティング部門
- 国際的活動を行う政府機関・多国籍企業

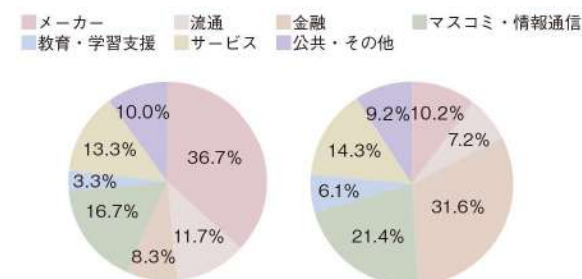
大学院に進学し、更なる研究を目指す

- 様々な文化の研究者・専門家
- データサイエンス、情報科学、数理科学の研究者・技術者

データサイエンスの実践力を活かす

- 商社・銀行などの情報分析部門
- 多量のデータをもとに業務を行う官庁・地方自治体
- シンクタンク・コンサルティングなどの社会調査関連業

就職者の業種別比率(2008年度)



主な就職先(2008年度)

- ・日本銀行
- ・三井住友銀行
- ・三菱東京UFJ銀行
- ・日本郵政
- ・野村證券
- ・日本生命保険
- ・野村総合研究所
- ・伊藤忠商事
- ・日本電信電話
- ・関西電力
- ・トヨタ自動車
- ・全日本空輸
- ・大日本印刷
- ・日立製作所
- ・キャノン
- ・教員(愛知県、奈良県)

在学生の声

プロジェクト(2009年度からはジョイント・リサーチ)について

- 能動的に授業に取り組めた。
- 目的に応じて自分たちで考えるという点で「データサイエンス」を実践する場であった。
- グループで研究に取り組む協調性を学ぶことができた。
- 自分の興味のあることを班員と協力して実験できることに大きなやりがいを感じた。
- クラスごとに雰囲気も取り組み方も違うので、勉学以外にも、人の考えなどに触れられるという点でよい刺激になったと思う。
- 数人で共同作業をするという作業の楽しさ・辛さを感じられていい経験になった。
- 自分と全く考え方の違う人と交流ができて、コミュニケーション能力が鍛えられる。



文化情報学部について

- 分野が幅広く、意欲をもって取り組みばいろいろなことにチャレンジできる。
- 教員と学生の距離が近く、アットホームな雰囲気の中で学ぶことができる。
- 文化に関心のある学生でもパソコンなどの知識に触れることから、希望する職種が広がる。
- 各分野の専門家である先生方とのふれあいを通して色々な考え方や価値観を感じられた。
- 自分の引き出し(思考や研究の手段)を増やすことができると思う。



入試情報

文化情報学部には、さまざまな選抜方法の入学試験が用意されています。いずれも大学教育を受けるにふさわしい能力と適性をそなえた人物を、公平かつ妥当に評価することを目的として実施しています。自分にあった選抜方法を選んでチャレンジしてください。

▶ 一般選抜入学試験

学力検査を中心とした選抜方法です。学部個別日程と全学部日程のそれぞれに文系型と理系型の試験機会を設けています。

▶ 大学入試センター試験を利用する入学試験

大学入試センター試験の出願教科・科目のうち指定する教科・科目についての試験の成績と本学で実施する個別学力検査により選抜します。

▶ アドミッションズ オフィス方式による入学者選抜 (AO入試)

同志社大学で学びたいという意志を持ち、かつ学力試験では評価できない多様な能力、大きな可能性を秘めている学生を全国各地から積極的に迎え入れようとする能動的な選抜方式です。

▶ 推薦選抜入学試験 (公募制)

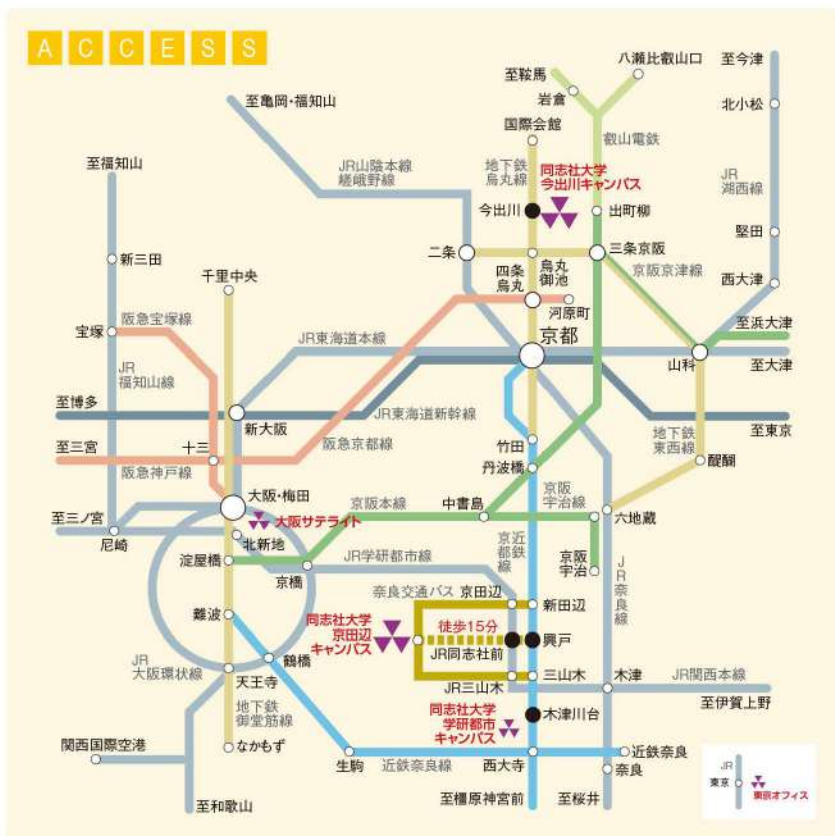
A～Cの3つの出願区分のうち、いずれかに該当する高校生を対象とし、筆記試験(数学および小論文)および面接を実施し、出願書類も含めて、総合的に判断して、合格者を選抜します。

< 出願区分 >

A区分	工業に関する学科、商業に関する学科、情報に関する学科、総合学科に在籍する高校生
B区分	高度な語学力を持つ高校生
C区分	文化活動・スポーツ活動において優れた業績を修めた高校生



Kyotanabe Campus



交通案内と所要時間の目安

- ◆ 大阪方面から
JR環状線「大阪」から「京橋」へ約6分→JR学研都市線で「同志社前」へ約40分(快速利用)→徒歩約10分。
またはJR東西線「北新地」から「同志社前」へ約50分→徒歩約10分
- ◆ 京都方面から
近鉄京都線「京都」から「興戸」へ約25分(京都～新田辺間急行利用)→徒歩約15分
- ◆ 奈良方面から
近鉄奈良線「大和西大寺」乗り換え、近鉄京都線「興戸」へ約25分→徒歩約15分

HP: <http://www.cis.doshisha.ac.jp/>

同志社大学 文化情報学部

〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3
TEL: 0774-65-7610 FAX: 0774-65-7618
E-mail: jt-bnkjm@mail.doshisha.ac.jp



DOSHISHA UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

FACULTY OF
**Culture and
Information
Science**